

八幡まち協だより

【第114号】2021年1月1日
八幡学区まちづくり協議会
近江八幡市宇津呂町73-1(八幡コミュニティセンター)
TEL 0748-32-2300 FAX 0748-32-2546
E-mail hachiman-cc@zc.ztv.ne.jp

新年明けましておめでとうございます

新型コロナ克服

躍動再スタートの年に!!

新型コロナウイルスに翻弄された令和2年からバトンを引き継いだ令和3年。八幡学区民にとって、明るい未来を見据え、気持ちを新たに再スタートするための一年となります。その再スタートにあたり、八幡学区のまちづくり協議会会長・岡村益夫さんと自治連合会会長・青山孝さんのお二人に今年にかける思いを聞きました。



岡村 まち協会長

あけましておめでとうございます。
皆さま方におかれましては、健やかに新春を迎えにいられたことと心よりお慶び申し上げます。
昨年は、当初これほどまでに大きな社会的影響が出るとは予測されていなかった新型コロナウイルス。感染拡大防止の観点から人と人の接触が制限される等、社会全体で様々なことについて自粛が求められ、多くのまち協事業を中止せざるを

得ない状況となりました。新型コロナウイルスと共に新年を迎え、いつ終息するか見通せない大変難しい状況にありますが、この難関を乗り越え、一人では生きていけない時代・互いに助け合い支え合う時代の中で、「住みよい・住んでいて良かったと思えるまちづくり」に向けて様々な事業に自治連合会(自治会)と連携して取り組み、一步一步前進させていかなければならないと思います。
皆様の一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、みなさまの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



青山 自治連合会長

八幡学区民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大に始まり、国や地方自治体の方、イデオラインに沿って自粛を余儀なくされ、各自治会活動についても、開催

可否や実施方法に不安が付きまとう一年となりました。こうした中、近江八幡市の感染予防対策事業の取り組みとして、特に百歳体操等の高齢者の活動がこれ以上低下しないよう環境を整えるための「高齢者いきいき活動支援交付金」が各自治会に交付されました。一方、近江八幡市防災総合訓練におきましては、まちづくり協議会と

連携して新型コロナウイルスの感染予防に対応した避難所運営訓練が実施されました。訓練で行われたように、今後は、新型コロナウイルスの感染予防を考えながらの自然災害時の避難所対策という新たな課題解決が不可欠となっております。これからも、まち協と自治会が車の両輪の関係を保ちながらまちづくりを推進する上で、皆様の一層のお力添えをお願い申し上げますと共に、本年も皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

いきいき健康づくり教室の特別企画として10月1日にスタートした「ウォーキングでいきいきと!」は予想以上の好評で、延べ参加者数がそれぞれ10月は1229名、11月は1447名でした。自宅からコミセンまでのウォーキングで、毎日コミセンでもらうスタンプの数が増えることも励みとなり、更には、次のような言葉も聞こえてくるようになりました。「ここに来て、お話しできるのが楽しみ」「体重が△kg減った」「食事が美味しく頂けるようになった」「よく眠れるようになった」……。



市青少年市民会議

八幡学区より

2名が顕彰

近江八幡市青少年市民大会が11月28日、市文化会館で行われ、八幡学区から次の2名が顕彰されました。

☆大橋洋子さん

《親子プレイステーション》
「オンたんぽぽ」

☆西澤典枝さん

《八幡学区青少年健全育成会議普及員》

コロナ下 まちづくり視察研修に代え まちづくり研修会を開催 魅力ある自治会づくりに向けて



まちづくりに関する知識・ノウハウを習得し、少しずつでも八幡学区のまちづくり協議会の活動と運営を改善していくために、八幡学区まちづくり協議会では毎年、他地域にある先進的なまちづくり協議会や特定のテーマについて勉強できる施設を訪問して視察研修を行ってきました。しかし今年度は、新型コロナウイルス

地域活動で求められる新たな視点」という演題での講演の後、第2部として、参加者が質問内容をワークシートに記入し、それに対して講師が答える形で質疑応答が行われました。

講演と質疑応答を参考に、現在、自治会が直面しているいくつかの問題解決のヒントをまとめてみると次のようなことになりそうです。

「発達障がいと知的障がいってなに？」というテーマで、発達障がいと知的障がいのある人の疑似体験型啓発キャラバン隊として活動されているグループ「花 bee」

感染拡大防止を考慮して、他地域への視察研修を取り止め、講師に埼玉大学教授の石阪督規氏を招請して研修会を12月5日に実施しました。

研修会には、自治会長、まち協役員及び部会長等22名が参加し、第1部の「魅力ある自治会づくり」

八幡学区社会福祉協議会の理事研修会が11月21日、八幡コミセン多目的室で開催されました。この研修では、例年、各種福祉施設を訪問する外部研修を行っていましたが、新型コロナウイルスの関係で、今回は、センター内での研修となったものです。参加した理事の一人から感想を伺いました。



せ手軍以上を想像することが大切であると学びました。

体験をさせていただきました。障がいのある人は、抽象的な表現、例えば「ちゃんと・その辺・適当に・ちよつと」などの言葉は理解しにくいいため、具体的な表現で話すと伝わりやすくなるそうです。「コップにちよつと水を入れてきて」という表現は理解しにくく、その代わりに「コップのこの印のところまで水をいれてきて」と視覚を使って示すと分かりやすくなるということです。言葉以外の問題としては、興味のあ

先を使う作業や道具を使うことが苦手な人が多いそうです。疑似体験では、指先を少し余らせて2枚重ねで軍手はめ、模擬紙幣を数える体験をしました。障がいのある人が感じている感覚に近い感覚であると感じ、その不自由さに驚きました。

住みよい町づくり推進講座

人権・差別・偏見について学ぶ

「住みよい町づくり推進講座」が11月11・18・25日の3週連続で、検温・消毒・換気・マスク着用・人数制限等の感染予防対策をした中で開催されました。

第1回目は、「新型コロナ感染症について地域中核病院の役割」「コロナ禍における看護師の現場」と題して、近江八幡市立総合医療センター医師の山口琢様と看護師の田村聡美様より話を聴きました。

た。新型コロナに対応する中、総合医療センターの役割及び看護師の過酷な現場についての話に参加者全員が真剣に耳を傾け、医療に携わっておられる人達に感謝せずにはいられない気持ちになりました。

第2回は、「部落差別の現実から学ぶ」と題して、滋賀県人権センターの樋口孔司様より話を聴きました。その中で、見えているもの・知っているものが全てではない、いろいろな見方や考え方があることに気づき、そこから行動を変えようとする大切さを学びました。

第3回は、「大津レインボー宣言」と題して、元大津市人権・男女共同参画課長兼女性力室長の羽山はる美様より話を聴きました。社会の中では性別・国籍・障がいなどの考え方には多様性があることを認め、LGB



「住みよい町づくり推進講座」は、同問題を始め障がい者、高齢者、

子どもや性の問題などを考える良い機会であり、一人でも多くの人に参加していただき、「こんなことを学んだよ」と他の人とも話し合っていたら、この講座がより生きたものになると思われます。

八幡コミュニティセンター

避難施設整備工事完成へ



クレーンで宙に浮く自家発電機

8月に着工された八幡コミュニティセンターの避難施設整備工事は、令和2年12月中の竣工を目指して工事が進められました。

設備は大きく分けて、汚水貯留槽・給水タンク・自家発電機の3種類で、この内、12月に入ってから最後に据え付けられたものが自家発電機とその燃料タンクでした。いずれ

八幡堀浚渫に向け動き出す

イメージ写真

〈大垣城の堀浚渫工事〉



数十年前までは、舟を使って琵琶湖に出入りしてきた八幡堀ですが、琵琶湖総合開発により琵琶湖の水位が下げられたことに伴い、現在では、途中の2か所で堰止められ水量を保っています。所謂、細長い池のような状態となり、日常的に水の流れはなく、背割りから雨水とともに流入する土や砂などにより汚泥が堆積するようになりました。

汚泥除去は、かなり以前より多くの学区民から要望の声が聞こえ、八幡学区まち協としても他の団体と共にその声が県当局に届くよう努力してきました。そのことも考慮されたのか、ようやく浚

の設備も、地震等の自然災害により電気・水道などのライフラインが停止した場合に最低3日間、八幡コミセンにおいて最大20名のスタッフ（まち協役員・事務局員・市職員等）が八幡学区の避難対策本部として使用できるように考えられています。

施設の規模に合わせて設備の能力を調節せねば算要求されています。

渫工事が実現する運びとなりました。工事概要は次のような内容で、県は工事期間中の市民の協力をお願いしています。

【工事概要】

- 工事内容 浚渫工事
- 全体工事範囲 本町橋～浮舟橋 約650m
- 全体工期 令和2年度～4年度
- 令和2年度工事範囲 本町橋から上流 約150m
- 令和2年度工期 令和3年1月下旬～令和3年3月上旬（予定）

親子プレイステーション“たんぽぽ”のクリスマス会が12月11日、八幡コミセン多目的室で開催されました。今年は新型コロナの関係で事前予約制とし、12組の親子さんのみの参加となりました。

クリスマスソングが流れる会場で、お母さん方にはサンタの形をしたクリスマス飾り作りを楽しんでいただきました。そして、子ども達が鈴を鳴らしてサ

親子プレイステーションでクリスマス会



ンタさんと呼ぶと、いよいよ大きなプレゼントの袋を背負った、福祉部会会長の白井久隆さん演ずるサンタさんが登場し、サポーターさん手作りのプレゼントを子ども達に手渡すと、子ども達は「ありがとう」と顔をほころばせていました。

今年2回目の百人一首教室が11月28日、八幡コミセン多目的室で開かれました。この日もコロナ対策をした中で、23名の児童が先生の指導のもと、ルールや要領を学びながら、実践練習で腕を磨きました。参加者の一人、4年生の大更紗那さんが感想を寄せてくれました。

百人一首教室



百人一首教室では、他の学年の人や、ちがうクラスの人と一緒にできて、いつもとはちがう感じで楽しいです。

弟もすごくがんばっているし、前よりも強くなりました!

これからがんばりたいと思います。

11月行事のお知らせ

さらに詳しいことについては、まち協事務局までお気軽にお問合せください

15・22 親子プレイステーション「たんぽぽ」

金 15日:「昔あそびをしよう」
お手玉やコマで遊びましょう!
10:00~11:30
多目的室
金 22日:「節分のつどい」
オニのお面を作って、新聞紙の豆でオニは〜そとっ!!
初めての方も大歓迎です。



16 百人一首教室

10:00~11:30
多目的室
小学生を対象にした百人一首教室です! 事前予約制です。

16 2月分体育施設開放運営委員会
13:00~
大会議室
八幡中学校・小学校の体育館夜間(19:30~21:30)利用。
※利用には年間団体登録が必要

26 2月分コミセン貸館予約受付
火
9:00~
事務室窓口
新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用制限があります。
詳細はコミセン窓口まで。

2 3月分市民アリーナ予約受付
火
9:00~
大会議室
3月分市民アリーナご利用の予約受付を開始します。

【中止の事業】はちまん豆知識講座

【好評実施中!】ウォーキングでいきいきと!

そろばん・あんざん・さんすう

日本商工会議所・日本珠算連盟会員

上田そろあんスクール

中村教室

月・木曜日

<中村町公民館>

伸ばそう!

計算力 集中力 記憶力
忍耐力 イメージ力

お問い合わせ TEL 090-4491-6734

八幡コミセンは、今年恒例の大掃除を数回に分けて、延べ86名の方々の協力で行うことができました。このセンターを利用されるみんなが喜んでい

八幡コミュニティセンター 休館日カレンダー《1月》

日	月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	○	○	○	○	○	○